

オーストラリアの金融政策と オーストラリアドルについて

<政策金利2.75%に据え置き>

7月2日、オーストラリア準備銀行(RBA)は、政策金利を2.75%に据え置きました。

発表された声明文では、これまでと同様、今年の世界経済及び豪国内経済がトレンドをやや下回り、インフレ見通しも中銀の目標に一致することが予想され、経済成長を促進するため、現在の緩和的な金融政策が適切であるとの判断が示されました。また、引き続き、現状のインフレ見通しから、必要であれば利下げの余地があると述べられています。

豪ドルについては、依然として高い水準にあるものの、4月初めから10%程度減価していることが指摘されています。豪ドル安が進む可能性もありうるとし、そうなれば国内経済の構造調整が促進されるだろうとの見方を示しています。

<豪ドルは軟調>

5月から6月にかけて豪ドルは下落しました。6月19日には、バーナンキFRB議長が量的緩和の解除に向けた発言を行ったことから米ドル高が進み、1豪ドル=0.92米ドル近辺に下落しました。対円でも、一時1豪ドル=90円を割り込む場面が見られました。

声明で、豪ドルは依然高い水準にあるとの見方が示されたことなどから、発表後の豪ドルはやや下落しています。

7月2日東京市場15時現在、1豪ドル=0.917米ドル、1豪ドル=91.6円程度となっています。

<政策金利と為替の見通し>

豪ドル高の調整や、ラッド首相の就任及び9月の総選挙に向けてより積極的な政策が期待されることは、豪経済の下支え要因です。一方、足元では最大の貿易相手国である中国の景気減速懸念が強まっており、国内経済の先行き不透明感に鑑み、RBAは利下げの余地を残しつつ、当面政策金利を据え置くものと思われます。

そのため豪ドルは上値を試す展開にはなりにくいと考えられますが、中長期的には、相対的な利回りの高さや最上位格付けを維持する同国の安定性等が豪ドルを下支えすると考えます。

<豪政策金利の推移>

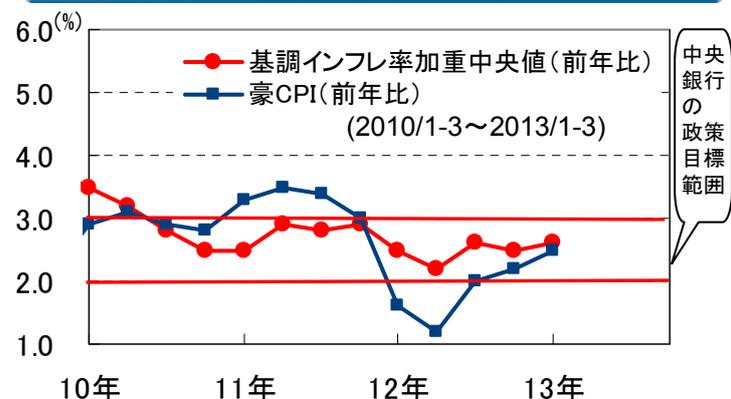


*政策金利は発表日ベース

<豪ドル為替の推移>



<インフレ指標の推移>



中央銀行の政策目標範囲

出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会